

平成30年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

ウーリークラブ ～吉備の里山で子育て～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

吉備の里山での活動や、講師による子育てに関する講義を受けることで、幼児期の体験活動や基本的生活習慣を身に付けることの重要性を知る。

2. 事業の概要

（1）期日

第1回 6月10日（日）日帰り

第2回 9月 8日（土）～ 9月 9日（日）1泊2日

第3回 12月15日（土）～12月16日（日）1泊2日

（2）参加者

① 募集対象・人数

幼児（未就学の4、5、6歳児）とその保護者 10家族40人程度
全3回に参加できる家族

② 登録人数 43人（11家族）

各回参加人数

第1回 40人（11家族）

第2回 35人（10家族）

第3回 25人（7家族）

（3）講師等

第1回 体験「飛び出せ自然体験隊」

講師：勝間 光洋 氏 （岡山県シェアリングネイチャー協会）

第2回 講義「気づいていますか？子供のサイン」

講師：港 高明 氏 （瀬戸内市立国府小学校非常勤講師）

第3回 講義「子育ての宝探し」

講師：酒井 幸子 氏 （武蔵野短期大学客員教授、付属幼稚園・付属保育園 統括園長）

（4）企画・運営のポイント

- ① 自然体験や学習を通して、自然の中で遊ぶ楽しさを味わうことができるように、季節ごとに変化する吉備の豊かな自然を感じられる全3回シリーズの事業として計画をした。
- ② 宿泊に向けて、無理がなく参加できるように、1回目は日帰りで当施設に慣れただき、2回目・3回目は1泊2日で、内容を詰め込みすぎず余裕をもったプログラムを組んだ。
- ③ 弟妹のいる家庭のために、託児を設けることや、ボランティアの人員を増やすなどして、保護者が保護者プログラムの講義へ参加しやすい環境を整えた。
- ④ 3回目は、ウーリークラブを卒業した家族（ウリソツ）との交流を深め、子育ての意見交流や家族間のつながりを図った。

3. 活動の内容等

(1) 日程

第1回 6月10日(日)			
9:30	受付	12:30	大冒険 河川敷
10:00	はじめましての会	13:30	体験「飛び出せ自然体験隊」
11:00	ハイキング 吉備の森	16:00	またねの会
11:45	昼食(お弁当)		

第2回 9月8日(土)～9日(日)			
13:30	受付	6:45	起床・清掃・荷物整理
14:00	おひさしぶりの会	7:45	朝のつどい・朝食
15:00	カプラ	9:00	おもしろ自転車
17:15	夕べのつどい・夕食	9:30	保護者プログラム
19:00	入浴・読み聞かせ		講義「気づいていますか? 子供のサイン」
20:30	情報交換会		子どもプログラム
22:00	就寝		工作
		11:30	またねの会

第3回 12月15日(土)～16日(日)			
10:00	受付	6:45	起床・清掃・荷物整理
10:30	お久しぶりの会	7:45	朝のつどい・朝食
11:00	釣り	10:00	野外炊事(ウリソツ合同)
	昼食		クリスマスクッキング
12:30	はじめましての会(ウリソツ合同)	13:30	またねの会
13:30	交流プログラム(ウリソツ合同)		
14:00	クリスマスゲーム大会		
16:00	保護者プログラム		
	講義「子育ての宝探し」		
17:15	夕べのつどい・夕食		
18:30	入浴・読み聞かせ		
20:30	就寝・情報交換会		

(2) 活動の状況



【はじめての会】



【ハイキング 吉備の森】



【大冒険 河川敷】



【体験「飛び出せ自然体験隊」】



【カプラ】



【講義「気づいていますか？子供のサイン」】



【工作】



【ダム湖で釣り】



【講義「子育ての宝探し」】



【クッキング(ウリソツ合同)】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：75% やや満足：25%

(2) 参加者の声

- ① 大人数の中でも不安なく過ごすことができた。
- ② 年中の息子が、自ら率先して片付けや身支度を行うことができていた。
- ③ 釣りなど、この場所ならではのプログラムで良かった。
- ④ 知らない子供と仲良くできることが増えてきた。
- ⑤ 安全に配慮した中で、包丁をたくさん使えて良かった。
- ⑥ クッキングでは、子供たちが自分で考え、やりたいことを見つけ、のびのびと取り組んでいた。

(3) 成果

- ① 子供たちが、積極的に毎回活動する様子が見られた。また、保護者は子供達と一緒に活動してみて、子供たちの新しい一面を見ることができた。
- ② 保護者は、2回開催された保護者プログラムで、講義を通して子育ての大切さや子育てのヒント、幼児期につけておきたい力などを学ぶことができた。
- ③ 宿泊を心配していた家族が多かったが、実際に体験することにより、より一層子供同士の交流や家族間の交流も深まった。
- ④ ウリソツクラブとの合同開催では、ウーリークラブを卒業した家族の思いを知り、体験から多くのことを学び取る大切さを実感できた。

(4) 今後の課題

予定していた第3回の期日が学校行事との重複により、急遽変更となったため、企画の段階から合同開催の時期を考慮する必要がある。また、参加家族も減っていったので、全回必ず参加できる条件を徹底していくためにも、広報を工夫する必要がある。

さらに当所ならではの自然を活用した体験ができるように、活動内容の企画や運営を工夫したい。

担当：企画指導専門職 西山 一之進